

- インタビュー 石川佳純(ミキハウスJSC)……【2】
- インタビュー 張一博(東京アート)……【4】
- 大会報道 ジャバントップ12……【6】
- 記録 ジャバントップ12……【10】
- 日本代表 石川佳純・張一博・石垣優香……【12】
- われら卓球仲間 日刊スポーツ新聞100号記念……【16】
- 日本の肖像 増田登(ミリオングループ代表取締役)……【22】
- 夢に向かった散歩道 近藤欽司(JOCエリートアカデミーコーチ)……【24】
- 練習のヒント 織部幸治(ITS三鷹代表)……【26】
- 中学生の指導 多田進(親愛ムーサスクール代表)……【28】
- Next Standard 新井卓将(丸子橋卓球スタジオ代表)……【30】
- One to One 平田洋子(全国ラージボール大会優勝)……【32】
- チーム紹介 国見町立県北中学校(福島県)……【43】
- イベント クックママ2010……【44】
- インタビュー 阿部恵・小野思保(サンリツ)……【49】
- インタビュー 松澤茉莉奈(淑徳大学)……【50】
- ショップ紹介 ヤナギスポーツ(東京都)……【51】
- 訪問レポート 同志社大学(京都府)……【52】

第5チャンネル……【34】

ピンポン東西南北……【36】

各地レポート……【37】

各地ラージボール大会……【45】

みんなのコーナー……【48】

編集室……【48】

ニッタク講習会……【54】

卓球ファンnet……【56】

Message

2002年11月から日刊スポーツ朝刊に「ニッタクニュース」の記事を毎月1回最終水曜日に掲載してから、2月23日付で100号を迎えた。

卓球記事を一般読者に読んでもらい、見てもらうことで、卓球の普及・発展の一助になればということから始めた。

現在では、全日本選手権となれば、優勝者や入賞者以外にも「最年少の選手初勝利」、「愛ちゃん二世」、「佳純ちゃん二世」、そのほか話題の選手が連日大きく報道されるようになった。

これは、マスコミ各社に対し、コミュニケーション作り、話題の提供、取材協力などを協会の広報担当者、NT関

係者、そして選手が協力することで、報道されるようになったと言える。

プラス、手前味噌になるが、この9年間、日刊スポーツに卓球記事を掲載してきた「ニッタクニュース」の継続の力も少なからず後押ししていると思う。

ニッタクの北岡功社長は、100号は通過点です。これからも卓球界の発展のために継続していきます、と語っている。

卓球がうまくなるための一つに「コツ」を見つけるということがあるが、発展するための一つに「コツ、コツ」がある。(片野)



表紙
ロッテルダム大会
日本代表選手
石川佳純(ミキハウスJSC)
張一博(東京アート)
石垣優香(淑徳大学)
撮影 安部俊太郎